



耕心 ~夢追いかけて~

佐世保市立吉井中学校
学校だより 第33号
文責 校長 川口 貴晴
令和3年12月17日(金)発行

【学校教育目標】自ら生きる力を培う生徒の育成
【めざす学校像】生徒一人ひとりの夢と志を育む学校
【一徳運動】「みそあじ運動(みなり・そうじ・あいさつ・じかん)」



修学旅行に行ってきました！

12月1日(水)から3日(金)まで修学旅行に行ってきました。本来なら9月に実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響を考え、延期していました。またコースも南九州方面から長崎県内に変更しての実施としました。

お陰様で、大きな事故やトラブル等もなく修学旅行を無事に終えることができました。初日の「軍艦島上陸見学」だけは、台風並みの暴風雨に見舞われ実現できませんでした。その代わりに日本初のティラノサウルスの全身骨格展示で全国的にも注目を集めている「恐竜博物館」の見学ができました。「軍艦島」以外は、天候にも恵まれ、予定の活動・見学をすることができました。特に、コロナ禍が少しおさまったことで、2日目は「高速フェリー」を使って熊本まで足をのばし、「熊本城」の復興の様子やコロナ禍で我慢の連続だった生活を「三井グリーンランド」でリフレッシュできたことは、生徒にとって本当によかったと思います。また、3日目には、「雲仙岳災害記念館(がまだすドーム)」や「大野木場小学校」などを訪ね、改めて自然の力のすごさを目の当たりにすると共に、命の大切さを学びました。「諫早湾干拓堤防道路」・「トランスコスモススタジアム」などの見学・体験を経て、無事に吉井中に帰りました。

校外に出たときにこそ、「本物」かどうか問われると常々生徒には言ってきましたが、どの見学地においても、態度やあいさつ、集合時間がきちんと守られるなど、関係者の方からお褒めの言葉をいただくほどでした。このことが今回の修学旅行で何よりもうれしいことでした。「やるときはやる2年生」は、「何でもできる3年生」に立派に成長したと喜んでます。

今回の修学旅行で学んだこと、強めた絆を、今後の学校生活に活かし、3年生の最大の目標である「受験(受検)」という壁を乗り越えてほしいと思います。

あなたたちならきっとできます！そう信じられる3日間の修学旅行でした。

※修学旅行の様子は、本校HPで紹介しています。



人権集会..たくさん学びました。

12月10日(金)は「世界人権デー」であり、本校の人権集会の日でした。集会では、生徒への人権に関するアンケート結果の発表や吉井中人権宣言の採択、千羽鶴モニュメントの披露などがありました。アンケートの結果発表を受けて、吉井中の現実をしっかりと受けとめ、これから「何か」を真剣に考えていかなければならないと決意を新たにしている生徒もいました。アンケートの中には、「人をからかったことがあるか」の問い、「ある」「自分がされた」という回答や障害や性的マイノリティの人の人権について、「知らない」と回答する生徒が少なからずいるなど、私たちも、今後も継続して人権教育を充実させなければならないと再認識させられました。



集会後は、掛屋剛志さんをお招きしての人権コンサートでした。視覚障害や知的障害などいくつかの障害がある掛屋さんですが、幼少期から家族の大きな愛情と支えを受けて、音楽への天賦の才を発揮し、今では、多くの人々に感動を与える音楽家となりました。生徒もその澄んだ天使のような歌声と心に響く音楽、そして掛屋さんの人柄に魅了されていました。「違いや個性を認めあえる共生社会づくり」と言われて久しいですが、今日の掛屋さんとの出逢いは、まさにその目標実現の学びそのものでした。

掛屋さんは、演奏後の聴衆の大きな拍手が大好きだそうで、それが掛屋さんのエネルギーになると最初に紹介されたので、生徒の拍手はいつも以上に大きく、そして鳴りやみませんでした。こんなに大きく、心のこもった万雷の拍手は、これまでの吉井中では聴いたことがないほどでした。この拍手だけでも涙が出ました。

人権コンサートの終わりに、謝辞と共に、生徒に向けて「何がない、これがない」とできない理由(やらない理由)を他のもの(人)に転嫁している自分が今いるとするならば、今日のコンサートを通して、掛屋さんの生き方を通して、自分自身を見つめ直してほしい。そして、今もっている自分の可能性(よさ)を最大限に伸ばし、自分なりに満足のできる人生を歩んでほしい。」と伝えました。

「素敵な歌声で心が洗われていくような時間」という最高のクリスマスプレゼントを贈ってくださった掛屋剛志さん、本当にありがとうございました。

吉井中人権宣言

- 一、人と接する時は、言葉遣いに気をつけて行動します。
- 一、一人一人の人権を大切にし、日々の生活に感謝します。
- 一、互いに意見を尊重し合い、思いやりの心を持ち、協力して生活します。

2021年12月10日 佐世保市立吉井中学校生徒一同

「開会の言葉」人権集会実行委員長 坂口 怜さん

今日、12月10日は「世界人権デー」です。世界人権宣言が1948年に採択され、50年の第5回国際連合総会で、毎年12月10日に記念行事を行うことが決められました。日本では、この日を含んだ形で、直前の1週間が人権週間に指定されています。

さて、今年は2020東京オリンピック・パラリンピックが行われました。世界中の人々が多様性と調和の重要性を改めて認識し、共生社会を育む契機となるような大会にするという目的で行われました。

わたしたちは、この集会で多様性と調和し、障がいの有無での違いを肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うためにはどうすればよいかを考えましょう。

「閉会の言葉」人権集会実行副委員長 濱野翔稀さん

今回の人権集会はどうでしたか。今回の人権集会でいろんなことを考えたと思います。その思いをこれからの生活に活かしてほしいです。

人権アンケートでは、知らないうちに人を傷つけてしまっている人が多いということが分かりました。この結果をもとに改善していきましょう。

人権コンサートでは、掛屋剛志さんの歌声に勇気づけられました。

今年度の吉井中学校人権宣言を常に心にとどめ、皆さんが安心して楽しく過ごせる吉井中学校にしていきたいと思います。



「交通安全県民運動」スタート！

令和3年 年末の交通安全県民運動
実施要綱
実施期間 令和3年 12月15日水～12月24日金

重点
● 安全運転の徹底
● 子供と高齢者を始めとする歩行者の安全確保
● 車と高層車の衝突防止
チャイルドシート正ししい着用

スローガン
スピードは視野も心も狭くする

交通安全企画展優秀作品(令和2年度展覧会)
長崎県立長崎工業高等学校2年(当時)
なかむら ぼやと
中村 隼人さんの作品
主催 長崎県交通安全推進県民協議会

12月15日(水)～12月24日(金)まで、「年末の交通安全県民運動」が行われています。

スローガンは「スピードは 視野も心も狭くする」で思わずなるほどと頷いてしまうスローガンです。

初日には、吉井駐在所のお巡りさんも横断歩道で見守りをして下さりました。中央幼稚園前の交差点は交通

量が多く、朝夕は大変混雑するので、大助かりでした。お巡りさんのおかげで、いつも以上に安全運転をしてくださった方が多かったような気がします。どうぞ、これからも安心・安全な生活のためにも、交通マナーや交通法規を守った運転をお願いします

生徒の下校時のお迎えでの「路上駐車」も絶対禁止でお願いします。(本校職員が校門で下校の見守りをしていますが、不在の時に平気で路上駐車をしている方がおられると聞きます・残念です)生徒の安全やルールを守る精神を育てるためにも、ぜひ大人がルールを守る姿勢、お手本を示していただければと願うばかりです。
※見守りボランティアの皆様、寒い中いつもありがとうございます。毎日感謝しております。

今回もたくさん頑張りました！

12月12日までに実施された各種競技で入賞した生徒の表彰を行いました。いいね！吉井中！【敬称略】

○佐世保市中学校体育大会 剣道競技新人大会

【女子団体の部】第3位 女子剣道部



○第54回J C旗争奪柔道大会

【団体の部】第3位 吉井少年柔道部
【個人の部】準優勝 池田優大



○長崎県中学校新人大会 柔道競技

【男子個人90kg級】優勝 池田優大



○第72回長崎県民体育大会 ボクシング競技

【UJ中学の部54kg級】第1位 近藤 盤

○第2回県北中学卓球団体交流大会

【3・4位トーナメント】優勝 女子卓球部



○第21回会長杯争奪卓球大会

【中学1年女子の部】優勝 松本 優奈 準優勝 濱崎 優衣

○佐世保市中学校体育大会 卓球競技 新人大会

【団体女子の部】第3位 女子卓球部

以上です。本当におめでとうございませう。寒風に負けずに日々鍛錬した成果です。引き続きがんばれ！

